



# 聖日礼拝プログラム

今週のみことば

イエスは彼らに言われた。「どうして怖がるのですか。まだ信仰がないのですか。」マルコ四・四〇



司会者 渡邊貞雄師 奏楽者 渡邊頼子師

讃美	イ 63	わが魂を愛するイエスよ	—	同
主の祈り				
讃美	新325	歌 つつ歩まん	—	同
交読	詩 篇	107:23~43	—	同
祈禱			司会者	
報告			司会者	
聖書	マルコ4:35~41		司会者	
説教		「どうして怖がるのですか」	佐藤宣愛師	
献金	新248	人生の海の嵐に	山口多恵子姉	
頌祝	新63	父、御子、御霊の	(起立) 一同	
祈禱				

受 = 幸子姉 / 操 = 中西兄 / A = 福田姉 / 報 = 牧師

〒515-0044 三重県松阪市久保町 1445-7 COG 松阪キリスト教会  
TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄  
FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子

2024年1月21日 VOL48-03 No. 2464

URL <http://matukyo.com/>  
Email [sadao@mctv.ne.jp](mailto:sadao@mctv.ne.jp)

## ご報告・消息欄

- ▼ 今朝は盛岡から佐藤宣愛・まなか先生をお迎えしての礼拝です。ご挨拶やみことば、午後は愛餐会(昼食)がもたれます。どうぞお加わりを。
- ▼ 梅や菜の花の便りも耳にしますが、ご健康のためお祈りをしよう。
- ▼ 先週の祈禱会は、「能登半島地震」の影響を受けた「津幡教会」の映像や写真での報告、中部教区会の今年の内容報告、各個人の祈りの課題等盛りだくさんをと共に祈り合いました。

- ▼ 入院中の北村兄は、今週から転院されリハビリに入る予定です。続けてお祈りください。
- ▼ 週報 P3 に「12弟子たちの資料」があります。
- ▼ 来週聖日は組会(AM10:-)から開始テキスト有ります



# にれ はみ

2024年1月14日  
聖日礼拝  
マルコ2：1～12  
「中風の人はいやし」  
説教 渡邊貞雄師



カペナウムはガリラヤ湖の北西岸の町で、主がガリラヤ伝道の本拠地とした所。主はここで多くの癒し、説教、奇跡、マタイの召命をなされた。

## I、みことばを語るイエス

多くの人が主イエスを待ち構え押し寄せてきた(1、2)。それは「戸まで隙間もないほど」(2)であり、みことばは彼らの希望と慰めと力だった。

そこに4人の者に担われた中風の人 が運ばれて来た(3、4)。ザアカイ同様に(ルカ19：)、遅れて来たように既に立錫の余地もない状況であった。

律法学者たちは、何もせず心躍らせず、ただ「あれこれ考えていた」(6)。それはイエス様のあら捜しとケチを付けようとの動機に満ちていた。

## II、信仰を見られるイエス

「信仰を見て」(9)とあり、信仰の有無が主イエスには見えたことに驚かされる。信仰とは信頼を意味し、主に信頼をおいているのは誰かを主はご存知であった。さらに心の中も主には「そんなことを考えて」といわれ、お見通しであった(6、8)。私たちの全てを知ってくださるイエス様を、恐

いと思われるか、それとも安心すると受けとめられるでしょうか。

4人の者に運ばれた中風の方は、身支度もせず、寝間着のまま、ただマットの上でありのままで、イエス様の前につり下ろされた。主は私たちの本当の姿を見られ、主に信頼する者の心を喜んで受けとめてくださる。

## III、罪を赦されるイエス

主は「罪は赦された」(5)と権威をもって宣言された。罪とは神の教えとの不一致、反抗をもたらす道徳的行為を指す。その物差しによると、「すべての人が罪を犯した」(ローマ3：23)とパウロは語っている。罪を犯したから罪人なのではなく、もともと罪人だから罪を犯すのだ。

ここに人間が全人格的な墮落して生活をする私たちがいる(詩篇51：5)。「臭いは元から絶たなきやダメ」と言う宣伝文句が以前流れたが、私たちは主の十字架の赦しによって、心から大改造され、解放される必要がある。

最後に自分も主のもとに人をお連れする奉仕のあることを覚えよう。私たちの周囲の必死に生きる人々の為に。



## ■イエスの12弟子たち紹介

●ペテロ=アンデレの兄。漁師、ガリラヤベト

サイダ出身。主にローマで布教。イエスから天国の鍵を授かり初代教皇に。ローマ皇帝ネロの迫害を受け、逆さ十字架にて殉教。

●アンデレ=ペテロの弟。漁師、ガリラヤベトサイダ出身。主にアジアやギリシアで布教。ローマ総督アイゲアテスにより投獄。X字型の十字架で処刑され、殉教。

●大ヤコブ=ヨハネの兄/ゼベダイの子。漁師、ガリラヤ出身。初期エルサレム教会の中心的存在。スペインで伝道後、エルサレムに戻るがヘロデ王に捕らえられ、斬首されて殉教。

●ヨハネ=大ヤコブの弟/ゼベダイの子。漁師、ガリラヤ出身。アジアに宣教に向かうが、ローマ皇帝に捕らえられ、パトモス島に流刑。聖書の最後を飾る「ヨハネの黙示録」を記した。

●フィリポ=バルトロマイの友人。漁師、ガリラヤのベトサイダ出身。ヨルダン川の岸辺でイエスに出会う。イエス一行の食糧調達係。ギリシャやフリギアで布教した後、殉教。

●バルトロマイ=ナタナエル/フィリポの友人。ガリラヤカナ出身。フィリポに導かれ12弟子に。

イエスに「真のイスラエル人」と賞賛される。広い範囲で宣教活動し、アルメニアで殉教。

●トマス=ユダ・トマス・ディディモ。漁師または大工、ガリラヤ出身。イエスの復活を疑ったことから「疑心のトマス」と呼ばれる。東方に渡って布教活動に励み、南インドで殉教。

●マタイ=レビ/アルファイの子マタイ/小ヤコブと兄弟。徴税人。各地で布教を行い、エチオピアまたはトルコのヒエラポリスで殉教。

●小ヤコブ=アルファイの子/マタイと兄弟。イエスの埋葬を手伝った敬虔な弟子。宣教に命をけずり、イスラエルの神殿で殉教。

●タダイ=ユダ・タダイ/小ヤコブの兄弟または子。聖母マリアの妹クロパの子と言われている。アルメニアで布教活動を行なう。斧で殺害され殉教。

●熱心党のシモン=反ローマ帝国の過激派組織。熱心党。エジプトで布教後、タダイと共にペルシアとアルメニアで布教。ペルシアで鋸で2つに切られて殉教。

●イスカリオテのユダ=イスカリオテ出身。殺害をたくらむ反イエス派に銀貨三十枚と引換にイエスを裏切る。その後、後悔して自殺。しばしば、裏切り者の代名詞に。

●マティア=イスカリオテのユダの後任。イスカリオテのユダの後任として、12使徒となる。伝承によると、石打ちの刑さらに、斧で斬首されて殉教。

## ◎1/17 (水) 祈禱会Ⅱコリ14:16~18 頼子師 「私たちは落胆しません」

パウロは何に落胆しそうになったのでしょうか。外なる人の衰え(16)と苦難(17)にです。励もうとする時に感じる自らの衰えと、隠し事を持つ人、ずる賢い歩みをする人、神のことは曲げる人、迫害する人に囲まれる苦難にです。

落胆しない理由は何だったのでしょうか。内なる人は日々新たにされている(16)から、そして重い永遠の栄光が

もたらされる(17)からです。私たちが昨日までのことを引きずっていたとしても、神に日々新しく「されている」のです。一時の軽い苦難が重い永遠の栄光をもたらすのです。この恵みの道をさらに進ませて頂きましょう。



## 「今後の集会予定／教会情報」

- ◎1 /24(水) 祈禱会 (ZOOM) (PM7:00)
- ◎1 /27(土) 清掃奉仕 (AM9:30)
- ◎1 /28(日) 楽しい組会 (AM10:00)
- ◎1 /28(日) 聖日礼拝 (AM11:00)

◆ 祈禱会 (司) 福田姉 (説) 渡邊師

● 来週礼拝 マルコ3:13~19, 31~35

● 主 題 「12弟子を選ぶイエス」

## 定期集会のご案内

- ◇ 楽しい組会 (日) 午前10:00~10:45
- ◇ 聖日礼拝 (日) 午前11:00~12:00
- ◇ 早天祈禱会 (火土) 朝6:30~7:00
- ◇ 祈禱会 (水) 午後7:00~8:15

## 来週 の 奉 仕 者

- ◎ 礼拝司会 中川 兄
- ◎ 礼拝奏楽 頼子 師
- ◎ 礼拝献金 中川 姉
- ◎ 受 付 真理 姉
- ▽ 教会学校 随 時
- ▽ ヤ ン グ 随 時
- ▽ さー来る① 当 日
- ▽ さー来る② 当 日
- ▽ さー来る③ 当 日
- ▽ 昼食当番 な し
- ▽ アッシャー 小坂 姉
- ▽ S S 入力 中川 姉
- ▽ P P T 操作 福田 姉

《《《 2024年 松阪教会スローガン 「新しいぶどう酒を心に！」 》》》  
 「新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れます。…両方とも保てます。」 マタイ9:17

## 礼拝の心得

- ① 聖書のヨハネ4:24に「神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」とあります。
- ② 始まる時間と5分前の着席を心がけ、奏楽や賛美を聞きながら心の準備をし、待ち望みましょう。
- ③ 賛美は感謝の心をもって、主をたたえつつ歌いましょう。
- ④ 語られる言葉(メッセージ)の背後にある、神のことばに耳を傾けましょう。
- ⑤ 献金は神への感謝を具体的に表現するものです。心から喜んでおささげしましょう。
- ⑥ その他、携帯音を止めておいたり足音や会話にも心を用いて出席しましょう。
- ⑦ やむを得ず礼拝を休む場合は、牧師(教会)に連絡をしましょう。



色々あっても、  
 何も起ころなくとも、  
 今日に感謝  
 過ぎたら、  
 よく眠るんだら、  
 聞いたはなし。

